



【『あいさつ』を大切に】

始業式や入学式でも、子供たちに「元気にあいさつをしよう」というメッセージを伝えました。学校に求められることは様々ありますが、まずは子供たちが明るく元気に、楽しい学校生活を送ることが何よりも大切です。その第一歩が「あいさつ」ではないかと考えています。

朝は8時から8時30分くらいまで、校門のところに立って子供たちを迎えるようにしています。今は正門（東門）のところに立っていますが、他の場所にも立てたらと考えています。

8時に職員玄関を出ると、すでに登校している子供たちが駆け寄ってきてくれて「校長先生、おはようございます」と元気に声をかけてくれます。この声を聞くだけで「今日も一日頑張ろう」という気持ちになります。登校してくる子供たちや、送ってきてくれる保護者の皆さんも本当によくあいさつをしてくれて、とても気持ちがいいです。

現状でも十分かもしれませんが、坂東小の子供たちなら、もっと上のレベルのあいさつができるはずです。理想は、『自分から、笑顔で（明るい表情で）、元気な（大きな）声』でのあいさつです。全ての子供たちが、そんなあいさつのできる学校になったら最高です。これからも『あいさつ』を大切に、学校生活を送ってほしいと思っています。

【『あいさつ』の意味】

『あいさつ』を漢字で書くと『挨拶』です。『挨』という字には、心を開くという意味があります。『拶』という字には、相手に迫る（近づく）という意味があります。つまり、あいさつは、自分の心を開いて、相手との距離を縮めるためのものだということです。

そして、一つ一つのあいさつにも意味があります。

「こんにちは」は漢字で書くと「今日は」となります。「きょうは」とも読めます。実は、この後に続く言葉が省略されていて、「今日は、お元気ですか」「今日は、お体の調子はどうですか」のような意味が込められています。

「こんばんは」→「今晚は」→「今晚は、ご機嫌いかがですか」

「おはようございます」→「お早うございます」→「お早いですね。今日も良い一日をお過ごしください」

「さようなら」→「左様なら」→「そのようなら、それならば」という意味→「もうそろそろお別れの時間です。それならば、また会う日までお元気でいてください」

「ありがとう」→「有難う」→「なかなかないこと、珍しいこと」という意味→「そんなめったにない優しさがうれしいです。感謝しています」

このように、**短い中にも相手のことを思いやる気持ちが込められた素敵な言葉、それがあいさつ**なのです。

ぜひ、保護者の皆様からも『あいさつ』に込められた意味をお子さんへ伝えていただき、家庭の中でもあいさつが当たり前になるよう、よろしく願います。

5、6年の学級委員の皆さんが、朝、右のような自作のカードを持ち、校門や玄関前に立ってあいさつ運動をしてくれています。一人一人があいさつの大切さに気づき、自主的にあいさつの輪が広がっていくのが一番です。学級委員の皆さん、これからも元気なあいさつを、さわやかな朝に響かせてくださいね。

